

1 3	単元名	7 課 時間	1 / 2
-----	-----	--------	-------

1 単元目標 時刻や時間割の言い方を表す言葉を使うことができる

2 単元の指導内容（本時 1 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
7	13	<ul style="list-style-type: none"> 時刻の言い方 もう一度尋ねる。 	「もういっかいって(ください)。」 「ゆっくりって(ください)。」 「かいて(ください)。」 時計	よ・ら・り
	14	<ul style="list-style-type: none"> 教科の名前 時間割を表す言葉 	「いちじかんめ、なに？」 「さんすう」 「きょう、さんすうある？」 「きゅうしょく、なんじ？」 国語、社会、理科、算数、など	る・れ・ろ

3 本時の指導目標

- (1) 時刻の言い方を表す言葉を使うことができるようにする。
- (2) 相手の話が聞き取れなかったときに、尋ねることができるようにする。

4 指導のポイント

- (1) 「〇時」「〇時半」など、時刻を表す言葉を使わせる。
- (2) 「もう一回言って(ください)。」など、聞き直すことができるよう、繰り返し練習させる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

【活動】

- 時刻を表す絵や時計の模型を使い、教師が「〇時」「〇時半」など、時刻の表し方や読み方を教える。デジタル式の表示のある絵を用いると、「分」の表示を理解しやすくなる。
- 「学校」「家」など、場所を表す絵と時計の模型を使い、時刻に合わせて二つの目的地の間を移動する表現を教える。
- 話し手の言葉が聞き取れないときに「もう一回言ってください。」「ゆっくり言ってください。」など、繰り返して言ってもらうための表現を教える。教師が意図的に小さい声で児童・生徒に話しかけ、「もう一回言ってください。」又は「書いてください。」と言わせる練習をしてもよい。








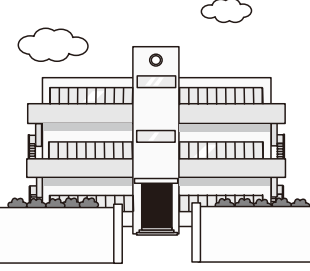
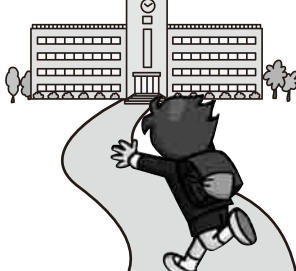

【留意点】


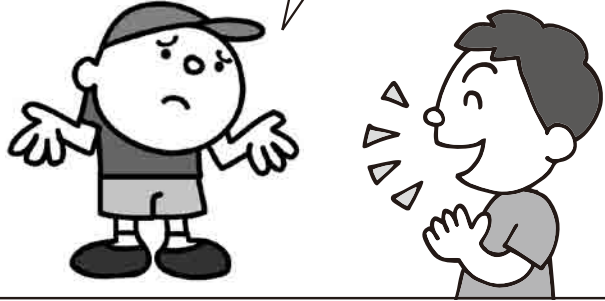

- 「〇時」の表現「4時」、「9時」、「7時」は、書く場合は「4じ」「9じ」「7じ」でよいが読むときは「よんじ」ではなく「よじ」、「ななじ」ではなく「しちじ」、「きゅうじ」ではなく「くじ」であることを指導し、59 ページのワークシートに平仮名で書かせると、印象付けられる。

6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 前時の復習	始めの挨拶をする。 前時の復習を行う。	
活動1	表現① 時刻の表し方 「いま、なんじ」	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の様子が分かる絵を使い、時刻の言い方を教える。 ・朝の絵…7時、昼の絵…12時、夜の絵…9時 ・時計を使い、1時から12時までの「何時」の言い方を教える。 ・時計の長針と短針を30分ごとに動かし、「〇時半」の言い方を教える。 ・5分・10分単位で時間を読み、時計の模型を用いて、時刻を読む活動を行う。 ・場所を表すカードを見せながら、時計の模型や時刻を表す絵を使い、意味を理解させる。 ・児童・生徒と教師で役割を交代しながら学習を行う。 「わたし、〇時学校行く」 「〇時、家、帰る」など 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日を表す絵 ・4時、7時、9時の言い方に留意させる。 <p>【発展】〇分の読み方を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝、昼、夜」の絵
活動2	表現② 頼む言い方 「もういっかいいってください。」 「ゆっくりいってください。」 「かいてください。」	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れないときの言い方を教える。 「もう一度言ってください。」 「ゆっくり言ってください。」 「書いてください。」 ・早口で話したり、間違えた発音で話したりして、聴き手が困る場面を作り、使い方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話している絵 ・身振りを使って分からない様子が伝わるように話す。
活動3	文字 「よ・ら・り」	<ul style="list-style-type: none"> ・「よ・ら・り」の書き方を教える。 ・「よん・とら・りす・らいおん」などの言葉の読み書きを練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな練習帳 <p>【宿題】 ひらがな練習帳</p>
挨拶	・終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

7 教材・ワークシート

 <p>a sa あさ</p> 	 <p>hi ru ひる</p> 	 <p>yo ru よる</p> 	
 <p>i e いえ</p>	 <p>gakkô がっこう</p>	 <p>i ku いく</p>	 <p>ka e ru かえる</p>

<p>mô ikkai itte ku da sa i もういっかい 行って (ください)</p> 	<p>yukkuri itte ku da sa i ゆっくり 行って (ください)</p> 
<p>ka i te ku da sa i かいて (ください)</p> 	

とけい (〇時)

「はん」

8 じはん

よ じはん

く じはん

ふん・ぷん

5 →ごふん
 10 →じっぷん
 15 →じゅうごふん
 20 →にじっぷん
 25 →にじゅうごふん
 30 →さんじっぷん
 35 →さんじゅうごふん
 40 →よんじっぷん
 45 →よんじゅうごふん
 50 →ごじっぷん
 55 →ごじゅうごふん

発展

1 いっぷん
 2 にふん
 3 さんぷん
 4 よんふん
 5 ごふん
 6 ろっぷん
 7 ななふん
 8 はっぷん
 9 きゅうふん
 10 じっぷん
 11 じゅういっぷん
 12 じゅうにふん
 13 じゅうさんぷん
 :
 :

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30